

御殿場口雪代堆積地の侵入植物調査

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会
2016年2月1日(改定)

この調査は富士山の生物多様性を保全する活動として実施したものである。

調査区域は陸上自衛隊東富士演習場の区域にあたるため御殿場市玉穂財産区、陸上自衛隊富士学校の許可を得て行った。

調査日 2014年11月15日(予備)

2015年5月27日・5月31日(補足)・6月20日・7月19日・9月6日・10月4日

調査協力 (敬称略) 現地調査・同定・監修 元静岡県自然環境調査委員会植物部会員 佐藤孝敏
現地調査・同定 富士山自然誌研究会植物部会 大嶋章 大嶋よし子
調査補助および写真 佐藤政幸 NPO法人ホシガラスの会

協力団体 富士山自然誌研究会

この調査記録には富士山自然誌研究会による2001年および2010年の記録を含む ※1

御殿場口雪代堆積地の侵入植物一覧

番号	科名	区分	和名	生育場所	摘要
1	トクサ		スギナ	都市部の空地、畑、道端、原野など	○
2	メシダ		イヌワラビ	庭先、藪陰、原野など	○
3	ヒノキ		スギ(※2)	低山地に植栽	
4	ドクダミ		ドクダミ	庭先、道端、藪陰などの日陰地	○
5	サトイモ		カラスビシャク	畑	○
6	アヤメ	△	ニワゼキショウ	道端、園地の芝地など	○
7	ヒガンバナ		ノビル?	畔、土手、堤防など	○
8	キジカクシ	*	ツルボ	土手、堤防、林縁など	
9	キジカクシ	△	ムスカリ	園芸栽培	○
10	ツユクサ	*	ツユクサ	道端、林縁など	○
11	イグサ	*	クサイ	道端、園地などの湿った場所	○
12	イグサ		スズメノヤリ	土手、堤防、原野など	
13	カヤツリグサ		チャガヤツリ	畑、道端など	○
14	カヤツリグサ	*	コゴメガヤツリ	畑、道端など	○
15	カヤツリグサ	*	カヤツリグサ	畑、道端など	○
16	イネ	△	ヒロハノウシノケグサ	道端、土手、堤防、道路法面など	
17	イネ	△	コスカグサ	道端、原野など	○
18	イネ	*	スズメノテッポウ	田畑	○
19	イネ		コブナグサ	田畑の畔、原野など	○
20	イネ	*	メヒシバ	畑、道端、原野など	○
21	イネ	*	オヒシバ	園地、道端など	○
22	イネ		アオカモジグサ	畔、道端、土手、原野など	
23	イネ		タチカモジ	畔、道端、土手、原野など	
24	イネ	*	チガヤ	田畑の畔、土手、堤防、原野など	○
25	イネ		ススキ	土手、堤防、原野、林縁など	
26	イネ	*	スズメノカタビラ	庭先、畑など	○
27	イネ	*	エノコログサ	土手、堤防、原野など	○
28	イネ	△	ナギナタガヤ	道端、土手、堤防、道路法面など	
29	イネ		シバ	道端、土手、草原など	
30	ケシ		タケニグサ	都市部の空地、原野など	
31	ケシ	△	ナガミヒナゲシ	道端、都市部の園地など	○
32	キンポウゲ	△	オダマキ栽培種	園芸栽培	○
33	キンポウゲ		キツネノボタン	田畑の畔、道端など	○
34	ベンケイソウ	*	コモチマンネングサ	庭先、路傍など	○
35	アカバナ	△	メマツヨイグサ	都市部の空地、路傍など	
36	アカバナ	△	ユウゲショウ	畑の縁、路傍など	○
37	マメ	△	ゲンゲ	田	
38	マメ		クズ	荒地、林縁、原野など	
39	マメ	△	シロツメクサ	田、土手、堤防、道路法面など	
40	マメ		ヤハズエンドウ (カラスノエンドウ)	田畑の畔、土手、堤防など	○
41	バラ		オヘビイチゴ	田畑、原野など	○
42	アサ	*	カナムグラ	道端、林縁など	
43	カタバミ	△	オッタチカタバミ	道端、都市部の空地など	○
44	トウダイグサ	*	エノキグサ	畑、道端など	○
45	トウダイグサ	△	オオニシキソウ	道端、都市部の空地など	○
46	スマレ		タチツボスマレ(※3)	林床、林縁、原野など	○
47	アブラナ	*	ナズナ	田畑、道端など	○
48	アブラナ	*	タネツケバナ	田畑、道端、林内の小川など	○

番号	科名	区分	和名	成育場所	摘要
49	アブラナ		イヌガラシ	田畑の畔、道端など	○
50	タデ	*	オオイヌタデ	都市部の空地、道端など	
51	タデ	*	イヌタデ	田畑の畔、道端、林縁、原野など	○
52	タデ		タニソバ	やや山地の畑、原野、林縁など	
53	タデ	△	ヒメスイバ	畑、道端など	○
54	ナデシコ	△	オランダミミナグサ	庭先、道端など	○
55	ナデシコ	*	ミミナグサ	田畑	○
56	ナデシコ		ツメクサ	庭先、道端、路面間隙など	○
57	ナデシコ	△	ムシトリナデシコ	空地や河川敷など	
58	ナデシコ	△*	コハコベ	庭先、道端など	○
59	ナデシコ		ミドリハコベ	畑、道端など	○
60	ナデシコ		ノミノフスマ	田畑	○
61	ヒユ		シロザ	畑、道端、荒地など	○
62	ザクロソウ	*	ザクロソウ	畑、道端など	○
63	スベリヒユ	*	スベリヒユ	畑、道端など	○
64	サクラソウ		コナスビ	庭先、土手、原野など	○
65	アカネ		ヨツバムグラ	林縁、原野など	
66	ナス		イヌホオズキsp.	畑、道端など	○
67	オオバコ	*	オオバコ	庭先、道端、荒地など	○
68	オオバコ	△	タチイヌノフグリ	畑の縁、道端など	○
69	オオバコ	△	オオイヌノフグリ	畑の縁、道端など	○
70	ゴマノハグサ	△	ビロードモウズイカ	都市部の空地、道端など	
71	シソ		キランソウ	田畑の畔、土手、堤防、原野など	○
72	シソ		カキドオシ	藪陰、道端など	○
73	シソ	△	ヒメオドリコソウ	畑の縁、道端、荒地など	○
74	シソ		シソ	庭先、畑など	○
75	サギゴケ	*	ムラサキサギゴケ	田の畔などの湿った場所	
76	サギゴケ		トキワハゼ	庭先、道端など	○
77	キツネノマゴ		キツネノマゴ	土手、道端、原野など	
78	キク	△	ブタクサ	荒地、堤防、河川敷など	
79	キク	*	トキンソウ	庭先、畑など	○
80	キク	△	ヒメジョオン	道端、土手、堤防など	○
81	キク	△	ハルジオン	道端、土手、堤防など	○
82	キク	△	ハキダメギク	畑の縁、道端など	○
83	キク	*	ハハコグサ	庭先、畑、道端など	○
84	キク		ニガナ	田畑の畔、土手、堤防、原野など	
85	キク	*	イワニガナ(ジシバリ)	庭先、田畑の畔、原野など	○
86	キク	*	アキノゲン	道端、林縁、草原など	
87	キク	△	セイタカアワダチソウ	荒地、堤防、河川敷などいたる所	○
88	キク	△	オキノゲン	道端、荒地など	○
89	キク	△	セイヨウタンポポ	都市部の空地、道端など	○
90	ウコギ	*	チドメグサ	庭先、道端など	○
91	セリ		オヤブジラミ	都市部の空地、荒地、藪陰など	○
計			91種類		66

注1)科及び種の配列は米倉浩司・梶田忠(2003-)「BG Plants 和名-学名インデックス」によった。

注2)区分欄の△は外来種、*は史前帰化植物(前川文夫,1978)

注3)摘要欄の○は人家周辺や畑などでよく見られる植物

※1 富士山自然誌研究会の調査記録

2001年8月25日 (9種)

アキノノゲシ、カヤツリグサ、ザクロソウ、シロザ、スギナ、(タニタデ)、ハキダメギク、ムシトリナデシコ、メヒシバ

(タニタデについては低地の植物と区別するため一覧から除外した)

2010年8月29日 (27種)

イヌタデ、エノキグサ、オヒシバ、オヘビイチゴ、オランダミミナグサ、カキドオシ、カナムグラ、コゴメガヤツリ、コハコベ、コブナグサ、コモチマンネングサ、シソ、シバ、スギナ、ヒメオドリコソウ、スベリヒユ、タネツケバナ、ツユクサ、トキンソウ、ドクダミ、ハキダメギク、ハルジオン、ヒメジョオン、ヒメスイバ、ムシトリナデシコ、メヒシバ、ヤブマメ

※2 植栽されたミヤマヤナギの根元に生えていたことから侵入種とした。

※3 調査地の裸地部分には自生していないため侵入種とした。

《調査地(裸地)およびパッチ縁部の在来植物》

【草本】 イタドリ、フジハタザオ、フジアザミ、オンタデ、ムラサキモメンヅル、コタヌキラン、ヤマホタルブクロ、ヒメノガリヤス、カリヤスモドキ、クサボタン、ヤマハハコ、フジオトギリ、ノコンギク、シロバナノヘビイチゴ、タチコゴメグサ、ネバリノギラン、キオン、コウゾリナ、ヨモギ、ハナイカリ、ミヤマアカバナなど

【木本】 カラマツ、ミヤマヤナギ、シモツケ、イヌエンジュ、オオフジイバラなど

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会

〒412-0006 静岡県御殿場市中畑1691-14

TEL 0550-89-6905 FAX 0550-73-0434

ホームページ <http://hosigarasu.org>

Eメール info@hosigarasu.org